

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	低加入分節型眼内レンズ挿入眼の高次収差と視機能
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 心身機能回復技術部門 視能訓練士 中津川 宥衣
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023 年 3 月
対象者	2019年1月から倫理委員会承認日までに金沢医科大学病院で白内障手術を受け、手術の1カ月後に5mの視力検査、屈折検査、コントラスト感度、高次収差の測定を受けた方
当該研究の意義・目的	低加入分節型眼内レンズは遠方5mから中間1mまでに焦点が合う眼内レンズですが、視機能に関して不明な点が多いです。視機能（見え方の質）を評価する項目の1つである高次収差は数値が高くなると視覚の質を低下させると言われています。低加入分節型眼内レンズは既存の眼内レンズと比較して高次収差の数値が高くなると言われており、視機能に与える影響を調査する必要があります。本研究では低加入分節型眼内レンズの高次収差の増加が視機能へ与える影響について他の単焦点眼内レンズと比較し検討することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は診療録から眼所見（主に白内障）、視力、屈折値、コントラスト感度、高次収差を取得し、高次収差が他の視機能に与える影響について解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた検査データなどを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 視能訓練士 中津川 宥衣 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（7301）

作成日： 2020 年 4 月 20 日